

2022 サマーキャンプ参加チームへの感染対策について

2022年 サマーキャンプ（九州大学バレーボール連盟 兼西日本大学バレーボール連盟女子強化委員会主催）参加チームにおかれましては、サマーキャンプを通じてチーム力を向上させ、各地区の秋季リーグ戦での好成績を上げることが目標に日々トレーニングに励んでいることと思います。

しかし、福岡県をはじめ各地区とも新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束しておらず、高止まりの傾向も認められます。サマーキャンプ参加チームにおかれましては、各大学の感染対策、福岡大学の感染対策とサマーキャンプ感染防止ガイドラインを遵守することをお願いいたします。

1 サマーキャンプ参加前

・サマーキャンプ参加者は、1週間前から健康観察（体温測定、咳・のどの痛み、痛み、味覚障害など）をおこなうこと。

2 サマーキャンプ期間中

- ・サマーキャンプ期間中は、毎朝参加者全員、体温測定を行うこと。
- ・福岡大学第二記念会堂入館時は、体温測定、手指の消毒を行うこと。
- ・練習（ウォーミングアップを含む）および試合以外はマスクを着用すること。
- ・チームごとに観覧席および控え室は、指定された場所を使用すること。
- ・ラインフラッグ、マスク、消毒液は各チームで準備すること。
- ・試合終了後、ベンチを移動する場合は、椅子など使用した場所を消毒すること。
- ・線審など補助役員は、マスクを着用すること。
- ・更衣室などではマスクを着用し、3密を避けること。
- ・サマーキャンプ期間中、できるだけ選手間の交流は避けること。

3 サマーキャンプ終了後

サマーキャンプ終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合は、すみやかに実行委員会に連絡すること。

4 サマーキャンプ期間中に発熱者等が出た場合について

- ・サマーキャンプ期間中に発熱者が出た場合は、直ちに医療機関で受診すること。
- ・発熱者が出たチームおよび対戦チームについては、サマーキャンプの参加を中止する。また、サマーキャンプの中止等については、実行委員会で判断する。